

はじめに

技術研究所 所長 八ツ繁 公一

私たちは今、大変厳しい社会情勢に直面しています。昨年夏の米国大手証券会社の経営破たんを転機として全世界に波及した世界同時不況は、未だに解決の糸口も見えず、我が国においても失業者の増加、株価の低迷等、経済に深い影を落としています。

建設業界においては、民主党政権による公共事業費の大幅な削減が低迷する民需とともに各社の受注の落ち込みを招いています。

環境問題においては、地球温暖化防止への温室効果ガスの削減は、鳩山首相により提案された90年比25%の削減目標へ向けて、今後の大きな政策になろうとしています。

このような状況の中で、本年度は我が社の新中期計画・ADV（アドバリュー）2011の初年度に当たります。

企業理念として「豊かな環境を創造し社会に貢献する。新たな価値を創造し顧客に貢献する」を掲げ、長期的には「時代の変化に対応し、新たな価値を創造し続ける先端企業」を目指します。

中期企業イメージとしては、「高い総合力を誇る（VALUE創造）専門家集団として、お客様満足度を高め続ける企業。高い品質と健全性で社会からの信頼を高め続ける企業」を目指します。

技術研究所の活動目標は、この中期企業イメージに則り、我が社の技術開発の先鋒としての役割を果たしながら、お客様満足度を高め続け、技術により社会からの信頼を勝ち取ることです。

今後の活動の成果が、来期からの技術研究所報として、皆様のお手元に届けられることを重大な使命と考え、各テーマにおいて2011年度の完成を期します。

技術研究所報は研究活動の情報発信源として、また、皆様方からいただきましたご指導へのお礼としてお届けしたいと思えます。

皆様方のご指導とご協力をお願い致します。

2009年11月